

平成27年 第2回 多伎地域協議会 議事録

日 時 平成27年7月14日（火） 14：30～16：45

場 所 出雲市役所 多伎支所 2階 講習室

参加者

	氏 名	団 体 名 等	備 考
1	石 飛 正 治	島根県農業協同組合出雲地区本部多伎いちじく生産部会	
2	石 飛 孝 夫	出雲市消防団	
3	石 飛 尠	出雲市指定文化財調査協力員	
4	石 飛 な す 子	出雲市食生活改善推進協議会多伎支部	
5	石 飛 眞 佐 子	島根県農業協同組合出雲地区本部女性部多伎支部	欠席
6	川 上 美 智 子	出雲商工会多伎支所	
7	形 部 義 夫	出雲市体育協会多伎支部	欠席
8	杉 谷 茂	NPO法人 風の子たき	
9	竹 下 佳 孝	多伎地区社会福祉協議会	
10	玉 川 恵 一	多伎地区土木委員会 多伎町高齢者クラブ連合会	
11	鳥 屋 尾 晋	ふるさと多伎会	
12	柳 楽 和 利	多伎地区青少年育成協議会	
13	柳 楽 徹	多伎町連合自治会	
14	柳 楽 利 子	多伎地域男女共同参画推進実行委員会	
15	錦 織 幸 治	多伎地区民生児童委員協議会	
16	濱 豊	JFしまね多伎出張所	
17	濱 村 賢 一	多伎コミュニティセンター運営委員会	欠席
18	森 本 敏 雄	NPO法人 ボランティアネットたき	
19	山 崎 幸 一	多伎町連合自治会	
20	山 本 成 美	多伎町文化協会	

次 第

1. 開会
2. 支所長あいさつ
3. 会長あいさつ
4. 協議・報告事項

(1) 出雲市公共施設のあり方について

説明：多伎支所市民サービス課

資料 1～3

〈質疑応答〉

【多伎女性研修館について】

委員 女性研修館は自分の自治会内にある。市から交渉、説明等なく全く白紙の状態である。自治会内で協議する段階に至っていない。

無償貸与となって、補修費・維持管理費を全部自治会で負担しろと言われても、自治会費や会館運営費を大幅に値上げしなければいけない。まだ地域で話した訳ではないが、非常に難しい状況になると個人的には考えている。女性関係の会合やミニデイサービスもやっている。すべてに影響が出ると思う。

市 女性研修館の管理運営の契約の相手方は女性の会ですか？

委員 女性の会である。

会長 女性の会へは話をしてあるか？

市 現在のところ、担当課は女性の会へも自治会へも話をしていない。

会長 この件はまず、担当課が女性の会へ話をして、その結果によって自治会へどうするか。ふれあいサロン等影響もあることから、これは保留とし、「運営主体との話合いから始める。」とします。

委員 了承

【多伎文化伝習館について】

会長 多伎文化伝習館は、多伎文化伝習館運営委員会が指定管理を受ける準備を進めている。健康増進センターも一括管理して、有料になるとして申請している。運営委員会への一任で良いか。

委員 体育館の一つ、健康増進センターがそこに含まれている。

会長 健康増進センターが有料になってからの動向が良くわからない点があるが、運営委員会への一任で良いか。

市 「市の方針通り」ということで良いか。

会長 そうということです。

【体育館について】

委員 管理運営経費はどのくらいかかっているのか。毎月の電気代等。

市 公共施設のあり方についての説明会の時の資料 1 のとおり。

ただし、湖陵や佐田の施設は指定管理であり、多伎の3つの体育館は市の直営で、職員人件費は現れてこない。

委員 多伎の3つ分を足しても、佐田や湖陵の一つよりも安い。どこも傷んでいるところもないし、利用者数も増えている。やめる必要はない。

委員 仮に久村の勤労者体育館がなくなった場合。指定避難所であり、避難所は別途指定することだが、久村地内であれだけの大きさの建物はないと考える。そういうことも勘案しながら検討してほしい。

会長 市の考え方は、今ある施設を避難所にするということ。
「なくなれば中学校へ行ってください」ということ。

委員 一時避難所と、長期の避難所とは区別して考えなければいけない。

市 指定避難所については、会長の言われたとおり、先日の回答通りである。住民の皆さんにはご不便をかけるが、もし施設が廃止となれば、そのようにならざるを得ないと考えている。

会長 体育施設として、これだけの人が使っている。経費も安い。

委員 大規模修繕が必要になるまでは使わせてほしい。何もかも取り上げてしまうような考え方の市は発展性がない。経費節減には努める。

会長 スポーツクラブで、体育施設として指定管理を受けてでもやっていく案はないか。

委員 指定管理を受ける意思はあり、そのようにお願いしていたが、この間、行革の話がでてきた。この話の決着がつかないと指定管理に出せないと言われた。スポーツクラブとしては、指定管理をさせていただければ、体育館をより使いやすくして、教室を増やすなど利用率を上げることも十分可能である。資料2のとおり多伎体育館の利用者はスポーツクラブが常時使用しているから昨年と比べて1000人以上増えている。多伎だけ上がっているのは、教室などをしているから。

会長 とりあえず「検討中」という方針でよろしいか。

委員 了承

【シーサイド運動公園について】

会長 「市の方針通り」が良い。

【見晴らしの丘公園・タラソテラピー施設・多伎いちじく温泉・道の駅キララ多伎】

委員 ㈱多伎振興で頑張ってもらおう。

委員 地域協議会でどうこう言えない。㈱多伎振興の判断にかかっている。

会長 ㈱多伎振興も私がかかっているが、㈱多伎振興としては、やるなら4施設一緒だという思いは持っている。

委員 ㈱多伎振興に頑張ってもらわないといけないと思っている。

いちじく温泉は民間譲渡のようなことを言っていた。先日の説明会でも社員

のことを質問したが、「継続して雇用するよう条件をつけることができる」との回答であったがそんな甘いものではない。そんな言い方をしてもらっては困る。

会長 他の人がやれば、そんなことにはならない。経済合理性しか言わない。

委員 ㈱多伎振興の権限に及ぶことを、良いとか悪いとか言えない。

「市と㈱多伎振興との協議に任せ、今後も引き続き運営してもらいたい。」
ということぐらいにしかならないのではないか。

委員 固定資産税の心配をしている。相当かかってくると思う。

会長 固定資産税を払うことになれば、運営できない。固定資産税だけでも試算して、小さい百万円ではない。

市 方針が決まらなないと、㈱多伎振興も良い悪いが言えないと思う。

会長 民営化だからイエスということではない。

委員 地元住民に愛される施設でないといけない。

会長 地域協議会として、「㈱多伎振興にやってほしい」とは書けるのではないか。
私の立場では言いにくい。

委員 経営上の問題にもかかわる。現状を維持してほしいので、㈱多伎振興が運営できるように期待してほしい。

【いちじくの里について】

会長 「市の方針に同意する」でよいか。

委員 運営自体は民間で、指定管理を受けてやっている。3セクでもなく完全な民間の会社なので、今までの施設とは違うと思う。施設は市のもの。指定管理料0円、補助金もなし。市の負担は今のところない。ただ、固定資産税は払っていない。

市 これは民間譲渡ではない。管理運営の改善である。

委員 管理運営の改善である。施設そのものには影響がない。

委員 ただ、㈱いちじくのさと多伎自体の運営がうまくいっていないという状況はある。いちじくの里多伎創生プロジェクトの中で、取り組んでいるところ。

会長 会社としての運営は若干問題はあるが、方針通りでやるということだから、この通りでよいか。きらりプロジェクトでやっているが、商売としてあそこで売るものをしっかりやらないといけない。経営のやり方はいろいろある。

委員 了承

【多伎農産物集出荷処理加工施設について】

委員 いちじく部会部会長として。

「特定の使用目的」ということだが、現在は、いちじくの集出荷に限られているが、以前はなすなどの出荷もしていた。梅干しや餅やみその加工をやっていたこともある。

多伎町から JA へ託しますということで、現在に至っている。JA しまねに渡すなら部会としては OK せざるを得ない。

ただし、施設・設備も老朽化している。それを民間へとなれば、受けた方も大変であるし、部会、生産者へ負担がかかってきても大変なので、行政には、事業者への負担がないように、市からの補助を要望したいと思う。

市 基本的には、「移譲先が JA しまねなら同意する」ということで良いか。
委員 了承

会長 地域協議会の意見としてまとめる部分については、後日運営委員会で検討することとします。

委員 了承

(2) 出雲市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」骨子（案）について

説明：高田総合政策部長

<質疑応答>

委員：出雲市に定住していただききたいという熱い願いであるが、平成26年度の実績は？地区単位で転入が一番多い地区はどこか。

市：平成26年度の人口の動きは、転入と転出の差は580人転入が多かった。

そのうち500人近くは外国人。そのほとんどはブラジルの方。

それを除くと100人くらいの転入増になっている。

自然増減で言うと、亡くなられる方が、年間約2,000人。出生が1,500人から1,550人で450人程度の自然減という状況。差引、ほぼ、とんとんというのが出雲市の直近の状況。

これを地区別に見た場合、今一番人口が増えているのは、旧出雲市の川跡地区。次に増えているのは、旧斐川町の伊波野地区。転入というより、転居が多い。一番人口が減っているのは、旧大社町の日御碕。合併後2割減少している。今回の総合戦略では、市全体が中心になり、地域別にそれぞれの目標や施策は載せきれていないということが現状。

委員：企業誘致の見通しは如何か。

市：企業誘致という面では、既存の工業団地はほぼ埋まっている。合併後斐川町に新たな工業団地を5ha作った。まだ完成はしていないが、昨年からセールスをしている。正式にはまだ決まっていない。せっかく作った団地が塩漬けにならないように、なおかつ優秀な企業に来てもらいたいと進めている。

この地方にも景気回復のきざしが見えている。既存の工場がかなり設備投資をしてもらっている。規模の大きいところでは、斐川の村田製作所は新しい棟を2棟建てるということである。投資額も100億円単位であり雇用も数百人単

位で増やすと言ってもらっている。

少しずつ明るいいきざしは出ている。一方、中小は厳しい。特に小売業などはどんどん数が減ってきている状況はある。

会長：地域の課題が地域にある。じかに現場に来て、聞いてほしい。

この中に1次産業という言葉があったが、1次がないと、2次も3次もない。特に農業をどうやって立て直すか。地域に土地や田んぼはある。地域資源、あるものは大事に使わないといけない。

住んでいる人の身近なことを考えないといけない。

出雲市の人口14万人というが、分布も考えないといけない。真ん中だけに集まってもしょうがない。地域の資源のあるところには、サテライトになっているような形の方が、出雲市にとってベターでないかと考える。

市：我々も全体の人口が維持できれば良いという認識ではなくて、地域が維持されなければ、定住にならないと思っている。

ただ、地域のすべての集落単位まで維持できるのか、将来を考えた時には、これから議論していかなくてはいけないという認識もある。

我々行政も地域へ出かけて 現状と将来の議論をしないとけない。

委員：1番は、未婚の男女が非常に多いということ。

出会いの場がないというか、関心がないというか。行政と民間とで出会いの場を設けるとか、何かしないと、どんどん子どもが少なくなるばかりだ。

結婚している人の出生率は変わらないと思う。結婚していない人が多い。

市：平成25年から出雲市も結婚対策に取り組み始めた。出会いの場の創出など。子育て支援と同じように、結婚支援も行政が、民間とも連携をとりながらやっていかないとけないと考えている。行政がやる部分、市民の皆さんに担っていただく部分。連携しながらやっていきたいと思っている。

委員：何を恐れているのか。結婚しようとしたくない。一歩を踏み出そうとしたくない。

市：昨年、親御さん向けセミナーを開催した。「当事者だけでなく、家族で考えることも必要だ」という講師のお話もあった。

4月から5月に高校生に結婚や定住に関するアンケートを実施した。

多くの子どもたちが、いずれは結婚して家庭をもって、子どもを育てたいと回答しているが、「特に結婚したくない」率も結構ある。女子生徒が高い。

家族を持つことの意味について、啓発していくことも大切だ。

これからは、行政としてもやっていかないとけないと考えている。

委員：医療施設がたくさんあることは良いこと。

病気になる前の、「健康寿命」ということが言われている。「健康寿命」を伸ばすということが入ると良い。

市：大事なこと。参考にさせていただきたい。

(3) 地域協議会活動費について

班別名簿

広報事業について

意見なし 了承

資料4

資料5

7. その他

(1) いちじくの里多伎きらりプロジェクトについて

- 6月から、フェイスブックを立ち上げて、情報発信に取り組んでいる。
多くの方に見ていただきたい。
- 6月からやまももの収穫が始まった。例年以上の収穫状況。今後集まったやまももを加工して、例年以上販売していくことになる。販売方法も新たな方法を検討していく。
- 秋には、プロジェクトとしてのイベント開催を検討している。

(2) 住民自治組織整備検討会について

- 7月1日に2回目の検討会を開催した。
- 「地域協議会の廃止後には、連合自治会が主体的な受け皿になる」ということを確認した。
- それぞれの業務の整理や、連合自治会の規約の改正も伴い、今後検討していくことになる。現在の想定では、来年度の連合自治会の総会で規約の改正手続きが行われる様な準備をしていきたいと考えている。

6. 閉会